

全ての人が避難しなければならないの？

防災

避難とは「難」を「避ける」ことです

安全な場所にいる人は、避難する必要はありません

浸水想定と住まいの状況（平屋建て・2階建てなど）によっては、自宅の安全な場所（2階など）にとどまった方がよい場合もあります。避難行動について詳しくは、広報いわぬま4月号22ページをご覧ください。

▶ 警戒レベルが発令されたら

下表を参考に、警戒レベルに対応した避難行動を取ってください。

特に、警戒レベル3以上の情報が出た場合は、自らの命は自ら守る意識を持ち、気象情報や市からの情報などを参考にしながら適切な避難行動をしましょう。

		警戒レベル	避難情報など	避難行動（とるべき行動）
大 危険度	市が発令	5	災害発生情報	すでに災害が発生しています。命を守るための最善の行動を取りましょう。
		4	避難勧告 避難指示（緊急）	危険な場所にいる 人は速やかに避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全な場所に避難しましょう。
		3	避難準備・ 高齢者等避難開始	危険な場所にいる 避難に時間を要する方（高齢者、乳幼児、障害のある方など）とその支援者は避難しましょう。そのほかの方は、避難の準備を整えましょう。
	気象庁が発表	2	大雨注意報 洪水注意報	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認しましょう。
小		1	早期注意情報 (警報級の可能性)	今後、大雨警報などが発表される可能性があります。災害への心構えを高めましょう。

▶ 台風や集中豪雨といった風雨による災害が予想されるとき具体的な行動

- 自ら**大雨情報などを積極的に収集**する。
 - ・テレビをつける、dボタン（データ放送）を押す
 - ・ラジオ（エフエムいわぬま）をつける
 - ・市ホームページ（防災・緊急情報）を確認する
- 非常用持出袋を準備し、玄関に置くなど、避難に備える。
- ハザードマップなどにより、自宅周辺の危険と避難行動を再確認する。

災害の規模が大きいほど救助や救出など公的な対応には限界があります。「自分の命は自分で守る」という自助、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の協力が必要不可欠です。**あなたの心の避難スイッチを「オン」**にして、それぞれの状況に応じて具体的な避難行動をとり、人的被害ゼロへつなげましょう。

問／防災課（☎内線542・543）

人口と世帯

(2年3月末現在)

住民基本台帳人口
 男 21,612人(-65)
 女 22,265人(+5) 計 43,877人(-60)
 転入 387人 転出 439人
 出生 23人 死亡 31人
 世帯数 17,976世帯(+51)

() 前月比

火災と救急

(2年3月中)

〈火災〉	0件	〈救急〉	157件
建物	0件	交通事故	10件
車両	0件	急病	91件
林野	0件	一般負傷	18件
その他	0件	転院	33件
		その他	5件
		火災	0件

(岩沼消防署調べ)

市内の交通事故件数

(2年3月末現在)

	3月中	1月からの累計	前年累計比
人身事故	6件	19件	-25件
死亡	0人	1人	-2人
負傷者	6人	19人	-29人

(岩沼警察署調べ)